

# RID2660 地区国際奉仕委員会 NEWS LETTER

2020-21 年度 第1号



ロータリーは機会の扉を開く



ご挨拶

2020-21 年度 地区国際奉仕委員会  
委員長 木下 基司

クラブ国際奉仕委員長会議  
開催予定

10月17日(土)  
大阪 YMCA 会館  
10:00~12:30

オンラインによる出席も可能で  
す。参加方法は、後日ガバナー  
事務所よりご連絡致します。

[ プログラム ]

1. 【財団補助金セミナー】

「奉仕活動とロータリー財団補助金」

2. 新委員長になったものの・・

「今更聞けない我がクラブの  
国際奉仕事業」を、地区のみ  
んなで聞いてみよう！

大阪堂島 RC (IM5 組)

吹田西 RC (IM2 組)

吹田 RC (IM2 組)

大阪リバーサイド (IM5 組)

大阪平野 RC (IM6 組)

大阪西南 RC (IM5 組)

の皆さんにご発表頂きます。

(当日発表順)

平素は地区国際奉仕委員会の活動にご理解を賜り誠に有難う御座います。

コロナ禍にて皆様のロータリー活動が大きく影響され、計画されて来た事業  
の中止・延期等で、大幅な予定変更を余儀なくされている事と存じ、心中ご  
察し申し上げます。是非とも事業の継続を祈念致しております。

我々、地区国際奉仕委員会もここ数年地区社会奉仕委員会と合同開  
催してきました**クラブ委員長会議**が、**10月17日(土)**の開催に変更は御  
座いませんが、午前・午後に分けての各委員会単独開催となりました。300  
人の収容会場に約 100 人を最大定員とし、ソーシャルディスタンスを確保  
し、45-50 分毎の 10 分の換気を行いながらの開催予定です。感染対策  
には万全を期して開催致しますので、ご参加賜りますよう宜しく願い申し  
上げます。

さて、今年度の我が委員会は、皆様に 5 月よりお願いしておりました「アン  
ケートの集計」が終わりました。皆様、ご協力有難う御座いました。

そして次の試みと致しまして、このアンケート結果から、皆様のクラブの奉仕活  
動の内容を我々委員会メンバーが、取材させて頂こうと考えました。そしてそ  
の内容を《 NEWS LETTER 》と言う形で地区全体にご紹介させて頂く事と  
相成りました。

様々な苦労話や秘策など、色んな目線から取材させて頂き、ご紹介して参  
りますのでご期待ください。

そこで、その第一弾と致しまして、最近**アフリカ ケニア共和国**で国際奉仕  
プロジェクトを開始されました「**大阪堂島 RC**」さん取材させて頂きました。  
国際奉仕担当委員長、**尾島 康弘**さんにお聞き致します。



## 大阪堂島ロータリークラブ

<例会場>

ANA クラウンプラザホテル大阪  
大阪市北区堂島浜 1-3-1  
TEL : 06-6347-1112(代表)  
ビクターフィー 4,600円

<例会日時>

毎月 第 1・3 月曜日 12:30~13:30  
会員数 46 名 (2020 年 7 月 1 日現在)

## 〔事業紹介〕

実施国・実施地域 **アフリカ ケニア共和国**

活動内容 高校生への奨学金支援

事業予算 ¥480,000

4 名の高校生へ 1 年間の**奨学金授与**を行います

補助金 今年度は使用せず

(昨年度は 24 万の地区補助金を得て、同額で同事業を展開)

## 〔活動目的〕

アフリカは今なお、多くの貧困問題を抱えています。その貧困層を少しでも救うためには、多くの方々の支援が必要だと考えております。そのために先ず、小さな輪、すなわち人との繋がりを作り、行動を起こし実現させることで、その輪を大きな輪へ広げていくことができ、そしてそれが我々ロータリアンの目指すべきロータリー財団の使命「貧困撲滅」の達成に導けることと考えております。つまり、アフリカの貧困で喘ぐ人々が、我々日本人が考える「極々当たり前の生活」を実現できる事を目的としています。

## 〔活動内容〕

**アフリカ ケニア共和国**にある**キベラスラム**内に**マゴソスクール**(学校)があります。この**キベラスラム**には 2.5 キロ四方の中に 100-200 万の人々が生活しています。現在、日本と同様アフリカでも新型コロナウイルス感染症問題により深刻な状況となっており、昨年度までは通常通り奨学金支援を行えたのですが、今年に入り学校の環境は、ソーシャルディスタンスを取れない状況になっており、休校せざるを得ない状況となりました。それから約 3 ヶ月が過ぎ、アフリカ政府から 2021 年 1 月に授業を再開する予定であると発表されたところですが、また、全国统一試験に関しても、今年度は全て中止。**マゴソスクール**も、プログラムを試行錯誤し、やっと少人数でも授業再開が可能と判断した様です。そして 1 月の学校再開には教室内の生徒数の制限や生徒間の距離などの条件が発生するので、その条件に適応出来るように教室の拡大など推し進めていこうです。そこで我々も**マゴソスクール**に対しまして、今季に活動内容を継続し**奨学金授与**だけでなく、新たな事業展開も考えなければならないと考え、今期までは奨学金の支援を成績上位 4 名に対して行ってきましたが、来年度は更に多くの支援を目指します。

〔現地での支援者・支援 RC〕 特になし

〔実施日〕 2020 年 11 月施行予定 継続事業としていく予定です。



## 〔今後の事業展開〕

世界的規模で新型コロナウイルス感染症の影響を受けているなか、特にアフリカ ケニアでは多くの人々が治療も受けられず、自然な流れを待つ状況にあります。そういった状態を回避する為に我々が出来る支援は、短期的支援と長期的支援 (奨学金支援)の2通りのプロジェクトが必要だと考えています。コロナ禍の貧困地域は目に余る程の過酷さであり、DV や虐待が更に増え、餓死者が多数でているようです。ロックダウンにより仕事が無くなり、食べていくことが更に困難な状況となっています。そこで我々は今回の長期的支援に加え、ケニア共和国ナイロビ マゴソスクール周辺地域の人々への食料支援も考えております。日々刻々と状況は悪化の一途を辿っていくなかで、その状況に合わせて我々の支援も形を変えていかなければならない事を痛感しています。今、必要な支援を、今、早急に行っていくことが大事です。先述の通り、ケニアの全学校が来年1月から再開になりますが、全学年が「留年」と言う形になります。その分、私たちの支援も長期的に続けていかなければならず、またコロナ禍が蔓延することで、その親たちが仕事を失い、食べ物を確保出来なくなる為、更なる今後の事業として食糧支援(給食支援)を視野に入れて展開していく予定です。



### 取材後に尾島担当委員長に質問致しました。

木下 基司 2020-21 年度地区国際奉仕委員会 委員長 (以下、木下)

: 尾島さん、一番のご苦労された点は何ですか？

尾島 康弘 2020-21 年度大阪堂島 RC 国際奉仕担当委員長 (以下、尾島)

: そうですね。現地のスタッフ (学校の先生や職員) が一番苦労をされていると思うんですが、ロータリーの補助金をお願いする時には金額をしっかりと明示しなくてはなりません。しかし、現地のスタッフさん等にこの「しっかりと」がなかなか難しいんです。

木下: なるほど。分かる気がします。それで今年は補助金を使っていないんですね。

しかし尾島さんの行動力には頭が下がります。

聞けば、東北大震災の時にも (ロータリー未加入時代) ご自身で借金をして軽自動車 10 台を東北地方へご寄付されたと聞きましたが、おいくら借金されたんですか？

尾島: <小声で> 300 万円程で、最近やっと返済が終わりました……。

木下: もう思想がロータリーですね。それがきっかけで、ロータリーへ入会されたんですか？

尾島: 違うんです。誘われて……。

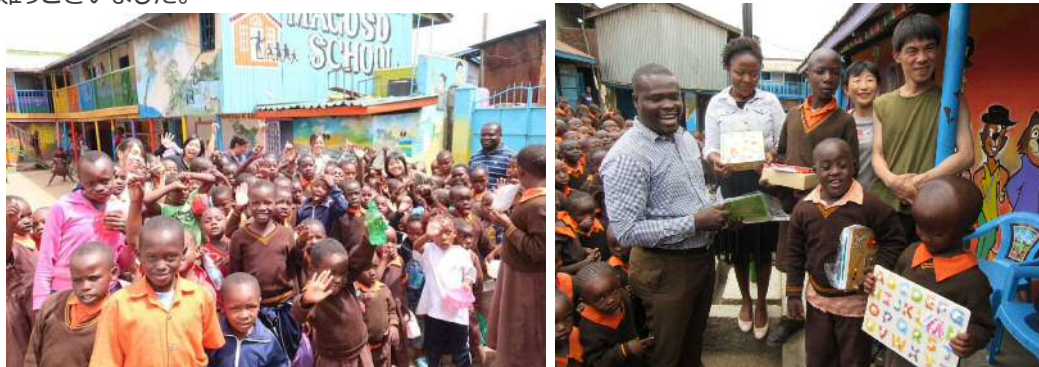
木下: 尾島さん、もっとロータリー財団や補助金制度を勉強して頂いて、地区補助金・グローバル補助金を活用した素晴らしい事業をご計画・実行して下さい。

尾島: そうですね。ロータリーの仕組みがやっと分かり始めて、アイデアも沢山ありますから我がクラブの中で相談して、これからももっと国際奉仕プロジェクトを進めて行きたいと思っています。

木下：頑張って下さい。

10月17日開催予定のクラブ委員長会議でも、この活動についてお話しを頂こうと思っておりますので宜しくお願いします。本日は有難うございました。

尾島：有難うございました。



～尾島康弘さんのご紹介～

2020年7月24日放送 AM9:50～関西テレビ「よーいドン」の人気タレント 銀シャリの“おしえて！スゴ腕ワーカー”のコーナーで“豊富な知識で新車の輝きに！”<洗車ソムリエ>として紹介されました。

◆◆◆◆◆ロータリー国際奉仕 豆知識◆◆◆◆◆

【国際奉仕事業の名称の変遷】1962年に発足したWCS<World Community Service>世界社会奉仕が、2010年11月のRI<Rotary International>国際ロータリーの理事会でロータリー・ボランティア・プログラムと共に廃止されました。（2010-11年度までということになります。）2011-12年度・2012-13年度の2年間のみは、ICS<International Community Service>国際社会奉仕と変遷し、2013-14年度からは「国際奉仕プロジェクト」と変更されております。

< 発刊 >

2020-21年度

RID2660 地区国際奉仕委員会

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 委員長  | 木下 基司（吹田西）          |
| 副委員長 | 宮崎 正人（高槻東）          |
| 副委員長 | 北井 雄大（大阪平野）         |
| 委員   | 津田 和義（大阪北梅田）        |
| 委員   | 徳上 洋之（大阪リバーサイド）     |
| 委員   | 國司 真相（池田くれは）        |
| 委員   | 加藤 正雄（大阪大淀）         |
| 委員   | 豊田 勝（大阪西南）          |
| 委員   | 津村 昌明（茨木西）          |
| 委員   | 西本 恵美子（高槻）          |
| 委員   | 中根 三恵子（大阪ユニバーサルシティ） |

■ 委員会 毎月第1木曜日(原則) ガバナー事務所にて開催 ■

News Letter に関する お問い合わせ

国際ロータリー第2660地区 ガバナー事務所  
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F  
TEL: 06-6264-2660  
E-mail: kamo@ri2660.gr.jp

NEWS LETTER 2020-21年度 第1号



ロータリーは  
機会の扉を開く